# 「　論理・表現Ⅰ　」指導と評価の年間計画

福井県立　勝山 高等学校

| 実施月 | 単元の時数 | 単元名 | 題材内容 | 単元の目標 | 評価規準 | | | 単元で取り上げる言語活動の領域 | | | | | 評価方法（統合的な評価を含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | L | R | Sや | S発 | W | |
| 4,5月 | 7 | Unit 1<br>Let's Talk about Ourselves | クラスメイトと自己紹介を行う。 | ・自分の住んでいる地域の習慣について紹介できる。<br>・基本表現を意識して話すことができる。 | ○初対面の会話や発表での基本的な表現を理解し、使用できる。<br>○自分の住んでいる地域の習慣を紹介することができる。<br>○プレゼンテーション活動に必要な表現について、理解し使用できる。 | ○自分の住む地域の習慣について、グループ内プレゼンテーション(show and tell 活動)を行うことができる。<br>○グループで聞いたプレゼンテーション内容について、コメントしたり、質問したりすることができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で扱った内容を、エッセイにして表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 1学期中間考査 | | | | | | | | | | | | | |
| 5,6月 | 7 | Unit 2<br>School Life | 学校生活について表現する。 | ・勝高おすすめ／気になるスポット紹介<br>・ライティングの基本（主文、説明、まとめ）を意識して原稿を書くことができる。 | ○高校内の気に入っている場所や、気になる場所を紹介することができる。<br>○自分の住んでいる地域の習慣を紹介することができる。<br>○ライティング活動に必要な表現や構成について、理解し使用できる。 | ○自分が見つけた高校内のお気に入りの場所や気になる場所について、グループ内プレゼンテーション(show and tell 活動)を行うことができる。<br>○3～4人のグループで出身中学校の後輩に向けて学校紹介動画を作成することができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で自分が担当した場所について、写真付きの記事にして表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 6,7月 | 7 | Unit 3<br>The Arts | 週末の予定や好きなものについて会話を広げる。 | ・ちょっとマニアックなおすすめ○○を紹介することができる。<br>・基本時制に留意してレポートを書くことができる。 | ○みんなが知らないおすすめ○○を紹介することができる。<br>○時制に留意して習慣や具体的なエピソードなどを含めて発表することができる。<br>○プレゼンテーション活動に必要な表現について、理解し使用できる。 | ○聞き手が興味をもって聞けるように、見せる写真や話す順序を工夫してグループ内でプレゼンテーション(show and tell 活動)を行うことができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で扱った内容を、レポートにして表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 1学期期末考査 | | | | | | | | | | | | | |
| 9,10月 | 7 | Unit 4<br>Food and Culture | 世界の食文化について | ・世界の食文化を紹介するレポートを書くことができる。<br>・現在完了形を適切に使用しながら、文化の歴史を説明できる。 | ○世界の食文化を紹介することができる。<br>○現在完了形を適切に使用しながら、調べた国の食文化や、その特徴を持った経緯などを説明することができる。<br>○プレゼンテーション活動に必要な表現について、理解し使用できる。 | ○調べてきた国の食の特徴について、グループ内でプレゼンテーションを行うことができる。<br>○3～4人のグループを作り、グループで選んだ国の食文化について、具体例を挙げながらプレゼンテーションを行うことができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で扱った内容を、レポートで表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 10月 | 7 | Unit 5<br>Welcome to Our Town | 町の紹介、案内 | ・勝山市を訪れた外国人観光客を案内する場面をロールプレイで発表できる。<br>・勝山市の新しい「ゆるキャラ」を考案し、プレゼンできる。<br>・道案内や場所を詳しく説明することができる。 | ○Part 1,2の会話を聞き、リスニングによる情報のみでワークシートを埋めながら、会話の内容を把握することができる。<br>○Part 1,2の会話を他の人に伝えたり、内容について質問したりすることができる。<br>○プレゼンの典型的な形式を理解できる。 | ○「勝山市を訪れた外国人観光客を案内する」という設定で、グループごとにスキットを作り、ロールプレイを行うことができる。<br>○勝山市の新しいキャラクターをグループで考案し、見た目、特徴、名前の由来などを、Visual Aidを用いながら、工夫してプレゼンテーションできる。<br>○プレゼン内容を勝山市長にプレゼンするという設定で、英語でまとめることが | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省点を見つけ、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 2学期中間考査 | | | | | | | | | | | | | |
| 11,12月 | 7 | Unit 6<br>Traveling Abroad | 世界旅行について | ・福井県を訪れた外国人観光客が買い物をして、福井のお土産を買うという場面をロールプレイで発表できる。<br>・旅行プランを立て、プレゼンできる。<br>・買い物のときに使える表現を使用できる。 | ○Part 1,2の会話を聞き、リスニングによる情報のみでワークシートを埋めながら、会話の内容を把握することができる。<br>○Part 1,2の会話を他の人に伝えたり、内容について質問したりすることができる。<br>○プレゼンの典型的な形式を理解できる。 | ○「福井県を訪れた外国人観光客が買い物をする」という設定で、グループごとにスキットを作り、ロールプレイを行うことができる。<br>○グループで世界の国の旅行プランを作り、歴史や見所、お土産などについてVisual Aidを用いながら、工夫してプレゼンテーションプレゼンできる。また、どの旅行プランが最も魅力的だったかを理由とともに述べることができる。<br>○プレゼン内容をガイドブックに載せるという設定で、英語で | ○グループ内でのディスカッション活動を積極的に行おうとする態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省点を見つけ、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 12月 | 6 | Unit 7<br>Sports | パラスポーツの歴史や魅力について | ・スポーツ選手にインタビューするという場面を、ロールプレイで発表できる。<br>・パラスポーツについて説明できる。<br>・インタビューの形式や相槌をうったり反応したりする表現を使用できる。 | ○Part 1,2の会話を聞き、リスニングによる情報のみでワークシートを埋めながら、会話の内容を把握することができる。<br>○Part 1,2の会話を他の人に伝えたり、内容について質問したりすることができる。<br>○プレゼンの典型的な形式を理解できる。 | ○「スポーツ選手にインタビューする」という設定で、グループごとにスキットを作り、ロールプレイで発表できる。<br>○パラスポーツについて、その歴史やルール、魅力などを個人で探究し、Visual Aidを用いながら、工夫してプレゼンテーションできる。<br>○プレゼン内容を中学校で発表するという設定で、英語でまとめることができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自らの学習過程や表現活動を振り返って反省し、次の学習へ向けて改善したり、自己の学習を調整したりしようとする態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 2学期期末考査 | | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | 7 | Lesson 8<br>Everyday Technology | 科学技術の長所と短所 | ・テクノロジーの長所と短所を理解する。<br>比較の表現を適切に使用しながら、テクノロジーについて説明することができる。 | ○Paper books と E-books において、それぞれ長所をまとめることができる。<br>○比較級を用いて2つのものを比べて良いところを表現することができる。<br>○show and tell 活動、プレゼンテーション活動に必要な表現について、理解し使用できる。 | ○テクノロジーを感じる商品について、グループ内プレゼンテーション(show and tell 活動)を行うことができる。<br>○テクノロジーを生かした商品と、古くから存在している商品とを比べ、長所と短所を比較しながら、3～4人1組のグループでプレゼンテーション活動を行うことができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で扱った内容を、エッセイにして表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 1,2月 | 7 | Lesson 9<br>Take Care | 健康維持について | ・健康維持に必要な行動についてまとめる。<br>・体調を表す表現を適切に使い、考えを表現することができる。 | ○体調を示す表現について理解し、使用できる。<br>○体調維持に必要な事柄を「因果関係」に注目して整理することができる。<br>○プレゼンテーション活動に必要な表現について、理解し使用できる。 | ○健康を維持するために必要な事柄について、調べたことを論理的にまとめることができる。<br>○3～4人1組のグループになって、健康を維持するために必要なことを3つの視点・観点からまとめ、プレゼンテーション活動を行うことができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で扱った内容を、エッセイにして表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 2月 | 7 | Lesson 10<br>SDGs – Take Action | SDGsについて | ・SDGsについて、自分の身の回りものと関連づけて説明できる。<br>・仮定法 | ○SDGsについて具体的な事柄と関連づけて理解できる。<br>○仮定法について理解し、使用することができる。<br>○プレゼンテーション活動に必要な表現について、理解し使用できる。 | ○自身が生まれ育った環境について、問題点を探し、SDGsの観点から解決方法について考え、グループ内で発表することができる。<br>○グループで日本が抱える問題について調べ、SDGsの観点から解決方法について考え、グループプレゼンテーション活動を行うことができる。<br>○グループプレゼンテーション活動で扱った内容を、エッセイにして表現することができる。 | ○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。<br>○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。<br>○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 知識・技能<br>各要素5点（×1/2で学期評価『2回の平均』）。考査点25点とあわせて40点満点。<br><br>思考・判断・表現<br>各要素5点（45点）。考査点20点。　合計65点満点<br><br>主体的に学習に取り組む態度<br>生徒自己評価＋他者評価＋教員評価で行う。25点満点。 |
| 学年末考査 | | | | | | | | | | | | | |
| 総時数 | 70 | | | | | | | | | | | | |